



2015年4月20日(月)

報道関係者各位

日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカー体験型授業「スポ育」 2014年度集計
479件で、初の2万人台となる21,617人が体験
5年目で、累計では6万人突破に近づく

平素より、ブラインドサッカーにご厚意を賜り厚く御礼を申し上げます。

日本ブラインドサッカー協会は、主に小・中学生を対象とした体験型授業「スポ育」の2014年度分の集計をこのほど終え、昨年4月からことし3月末までで、479件(90分の1コマを1件とする)で、21,617人に対して実施したことがわかりました。2010年9月から事業を開始し、5年目も過去最多の件数と人数を更新し、1年間の体験者数が初めて2万人を超えました。事業開始からの累計では、1,264件で59,743人が体験したことになります。

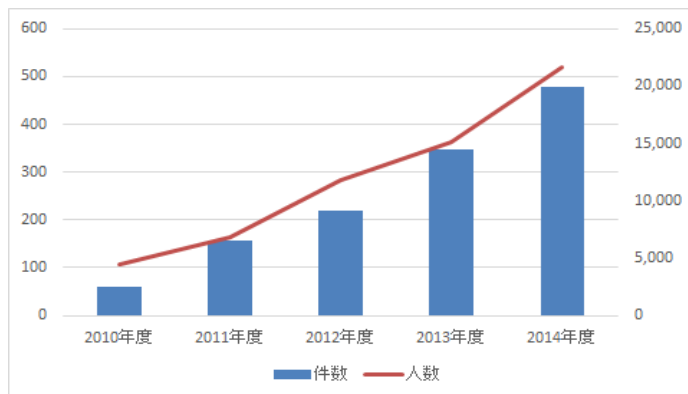
今年度は派遣対象地域の宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県のほか、ブラインドサッカーのクラブチームがあることなどから、茨城県、静岡県、大阪府、兵庫県で特別に実施。過去に実施した教員や学校から再度の申し込みがあったことに加え、障がい者スポーツへの関心の高まりや、昨年11月の「IBSAブラインドサッカー世界選手権2014」でメディアの報道を通じて競技が注目されたことなどから、新規の問い合わせや申し込みが増えたと見えています。

対象者でみると、小学4年生に対して行ったのが300件と総件数のおよそ6割を占めます。地域別では、神奈川県横浜市が3,082人、川崎市が2,312人と目立っており、東京都の八王子市でも1,000人以上が体験しました。授業以外に、部活動やスポーツ少年団、社会福祉協議会などからの申し込みで、異なる学年の子供たちが混ざって行われるケースもあります。月別では、一学期中と長期休暇期間の実施は少なく、9月以降に増える傾向にあります。(集計の詳細は2枚目に)

「スポ育」は、パラリンピック競技であるブラインドサッカーの要素を用いたダイバーシティ(多様性)教育プログラムで、視覚をアイマスクで閉じた状態で、さまざまなワークショップを行います。子供たちが視覚に障がいのあるブラインドサッカー選手と触れ合いながら、障がい者の理解や多様な個性の尊重、相手の立場に立った声の掛け方などへの気づきを生み出す、と評価を頂いております。(実施先からの感想は3枚目に)

※「スポ育」の詳細やお申し込み方法などは <http://supoiku.b-soccer.jp/> をご覧ください。

期 間	件数	人数
2010年9月～2011年3月	61	4,509
2011年4月～2012年3月	157	6,782
2012年4月～2013年3月	220	11,754
2013年4月～2014年3月	347	15,081
2014年4月～2015年3月	479	21,617
累 計	1,264	59,743



本件に関するお問い合わせ

日本ブラインドサッカー協会 事務局
 E-mail: media@b-soccer.jp 協会ウェブサイト: <http://www.b-soccer.jp>
 住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-7 新宿酒販会館2階
 電話: 03-6908-8907 FAX: 03-6908-8908

実施月	件数	人数	
2014年	4月	2	84
	5月	11	446
	6月	35	1,469
	7月	16	814
	8月	8	310
	9月	52	2,618
	10月	79	3,309
	11月	55	2,703
2015年	12月	61	2,695
	1月	64	2,569
	2月	60	2,854
3月	36	1,746	
総計	479	21,617	

学年	件数	人数
小学1～6年	9	370
小学1～高校3年	1	50
小学3年	19	933
小学3、4年	5	202
小学3、5年	2	60
小学3～5年	4	115
小学3～6年	3	93
小学3～中学3年	1	30
小学4年	300	13,438
小学4、5年	3	130
小学4～6年	3	88
小学5年	33	1,445
小学5、6年	4	174
小学6年	27	1,138
小学6年、中1・2年	1	20
小学生/中学生	2	13
中学1年	20	975
中学2年	11	463
中学3年	10	485
中学1～2年	2	74
中学1～3年	5	521
高校1年	5	335
高校1、2年	3	131
高校1～3年	1	100
高校3年	1	26
学生以外も含む	4	208
総計	479	21,617

都道府県	地域	件数	人数
宮城県		6	468
	仙台市	6	468
茨城県		5	208
	下妻市	2	83
	ひたちなか市	1	30
	守谷市	1	35
	その他	1	60
埼玉県		29	1,566
	さいたま市	10	664
	川口市	3	162
	所沢市	5	210
	春日部市	2	90
	上尾市	2	112
	幸手市	2	88
	吉川市	4	210
	その他	1	30
	千葉県		15
松戸市		7	273
柏市		3	81
浦安市		2	105
船橋市		1	50
千葉市	2	60	
東京都		285	12,526
	千代田区	1	48
	中央区	2	122
	港区	2	104
	新宿区	13	538
	文京区	5	160
	台東区	6	218
	墨田区	4	195
	江東区	7	313
	品川区	6	225
	目黒区	6	263
	大田区	7	242
	世田谷区	10	471
	渋谷区	2	78
	中野区	11	468
	杉並区	8	363
	豊島区	3	110
	北区	5	207
	荒川区	1	60
	板橋区	7	327
	練馬区	6	203
	足立区	5	254
	葛飾区	12	566
	江戸川区	7	300
	八王子市	26	1,060
	立川市	10	551
	武蔵野市	6	262
	青梅市	8	321
	府中市	17	638
	昭島市	2	103
	調布市	6	359
	町田市	16	738
	小金井市	8	375
	小平市	3	138
	日野市	1	152
	東村山市	3	108
福生市	2	67	
狛江市	1	61	
東大和市	4	164	
清瀬市	3	100	
武蔵村山市	6	388	
多摩市	7	263	
稲城市	4	174	
羽村市	2	70	
あきる野市	1	47	
西東京市	11	483	
瑞穂町	2	69	
神奈川県		133	6,002
	横浜市	70	3,082
	川崎市	52	2,312
	逗子市	2	83
	大和市	4	314
	鎌倉市	2	83
	藤沢市	1	50
	厚木市	1	60
横須賀市	1	18	
静岡県		3	143
	島田市	2	100
御殿場市	1	43	
大阪府		2	110
	大阪市	2	110
兵庫県		1	25
	川西市	1	25
総計	479	21,617	

実施先からの感想

「最初、わたしは、目の不自由な人って、スポーツはできないんじゃない、と思っていました。けれども、寺西選手に出会って、スポーツができることを知って、びっくりしました。寺西選手に出会ってなかったら、決めつけていたままだと思いました」

(東京都 小学4年生)

「まえの日の夜は楽しみでしかたがありませんでした。でも、いざとなつてやるとこわくて、こわくてしかたありませんでした。でもだんだんなれていくうちにこわきなんてなくなり、楽しくなっていました」

(埼玉県 小学4年生)

「目が見えないのはすごくこわいと思ったけど、目が見えなくても、人生は楽しめるという意味を教えてもらえていい時間だったと思いました」

(東京都 小学4年生)

「僕はブラインドサッカーの体験を通じて、コミュニケーションの大切さを感じました。足りない情報を協力することで補完する。これは普段の日常生活でも必要になる力だと感じました」

(神奈川県 中学3年生)

「子供たちは、はじめ、障がい者はできないことがたくさんありそう、かわいそう、というイメージを持っていました。しかし、体験を通して、周囲が工夫や手助けをすれば、同じようにできることがたくさんあることに気づきました。声を掛け合うことや、困った時には自分からそれを伝えることの大切さも学んだようでした」

(千葉県 小学校教員)

「怖さや不安が楽しさに変わったのは、信頼する仲間の声や、差し出された手があったからということに気づき、コミュニケーションの大切さを知ってくれたことと思います」

(埼玉県 小学校教員)